

生理学研究所研究会 23「医学生物学用超高压電子顕微鏡（H-1250M）の30年」

2010年3月5日(金) 午後1:00— 3月6日(土) 午後0:45

(於: 生理研 一階会議室)

代表者: 有井達夫 (自然科学研究機構・生理学研究所)

担当者: 有井達夫 (形態情報解析室)

座長 野田 亨 (藍野大・医療保健) 1:00 - 3:20

始めに (5分) 有井達夫 (生理研)

(1) 生理研超高压電子顕微鏡の特徴と三次元画像解析 有井達夫、浜 清 (生理研) 25分+5分

(2) エポン包埋切片の超高压電顕観察 片桐展子、片桐康雄 (弘前学院大・看護) 30分+5分

(3) 超高压電子顕微鏡を用いた生物試料観察、特に神経細胞、神経膠細胞観察への応用

小澤一史 (日本医大) 30分+5分

(4) “Application of the high voltage electron microscopy in neuroscience research”

Im Joo RHYU (Korea Uni., Colleg. Med.) 30分+5分

休憩 3:20-3:40

座長 小坂俊夫 (九州大・医) 3:40 - 5:25

(5) 網膜ニューロン間の電気シナプスにおける開口チャネルの割合 日高 聡 (藤田保衛大・医) 30分+5分

(6) 医学生物分野における超高压電子顕微鏡の応用: 免疫組織化学染色法と逆行性標識法の適用例

坂本浩隆 (岡山大・理) 30分+5分

(7) 300keV STEM(Titan)による5ミクロン厚切片の観察と超高压像との比較

重本隆一 (生理研) 30分+5分

休憩 5:25-5:40

座長 河田光博 (京都府立医大) 5:40 - 6:25

(8) 生理研HVEMの思い出 濱 清 (生理研) 40分+5分

3月6日(土)

座長 長浜真人 (鈴鹿医療科学技術大) 9:00 - 10:35

(9) E-PTA染色を施したシナプスの超高压電子顕微鏡観察 五十嵐広明 (東邦大・医) 20分+5分

(10) 超高压電子顕微鏡と組織化学 野田 亨 (藍野大・医療保健) 30分+5分

(11) 神経成長因子受容体TrkAの局在 西田倫希 (大阪大・超高压電顕センター) 30分+5分

休憩 10:35 - 10:55

座長 村田和義 (生理研) 10:55 - 0:45

(12) 嗅球ニューロン・グリアの三次元構造解析 樋田一徳、清蔭恵美 (川崎医大)、有井達夫 (生理研) 30分+5分

(13) 神経突起のふくらみ (varicosity) の構造解析 遠藤泰久 (京都工芸繊維大・工芸科学) 30分+5分

(14) 胎生期脳での神経新生に関わる細胞突起の形態・機能的解析 小菅戸陽一 (理化学研・CDB) 30分+5分

終わりに (5分) 村田和義 (生理研)